



平成30年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年9月11日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL http://www.beautygarage.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営管理グループ統括責任者 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5752)3897
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第1四半期の連結業績(平成29年5月1日~平成29年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第1四半期	2,708	16.2	136	19.5	137	58.6	139	153.5
29年4月期第1四半期	2,331	16.9	113	70.0	86	29.5	54	33.9

(注) 包括利益 30年4月期第1四半期 138百万円(160.4%) 29年4月期第1四半期 53百万円(45.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第1四半期	23.26	22.19
29年4月期第1四半期	9.18	8.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第1四半期	4,100	2,150	51.8
29年4月期	4,144	2,054	48.9

(参考) 自己資本 30年4月期第1四半期 2,123百万円 29年4月期 2,026百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	—	—	7.00	7.00
30年4月期	—	—	—	—	—
30年4月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日~平成30年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,329	15.1	212	△23.7	212	△15.6	133	△16.5	22.36
通期	11,076	14.9	600	8.0	600	12.3	389	23.9	65.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)一、除外 1社(社名)株式会社サロンキャリア

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年4月期1Q	5,976,000株	29年4月期	5,976,000株
30年4月期1Q	444株	29年4月期	444株
30年4月期1Q	5,975,556株	29年4月期1Q	5,975,595株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景として、景気は緩やかな回復基調を維持しました。また世界経済においても、全体として緩やかな成長を維持したものの、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化、米国や欧州の政治・経済政策の動向といった不安定要素もあり、先行きは不透明な状態にあります。美容業界におきましても、顧客単価の下落、店舗間競争の激化、新卒美容師の減少、小規模サロンの後継者不足など、サロン経営において厳しい環境が続いております。

そのような状況下、当社グループではリピート商材の拡充による「フロー&ストック型収益構造」への転換及びサロン向け「開業+経営支援」のサービス領域拡大を目的として、各種取組を継続的に実施しました。

当第1四半期連結累計期間には、平成29年5月に開催された美容業界最大のイベント「Beauty World Japan2017」への4ブース出展や、延床面積1,900㎡超の大阪総合ショールームを心斎橋に開設するなど、積極的なプロモーションと販路拡大施策を実施してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,708,485千円（前年同期比16.2%増）、売上総利益は875,785千円（前年同期比15.2%増）、営業利益は136,138千円（前年同期比19.5%増）、経常利益は137,175千円（前年同期比58.6%増）となりました。また連結子会社を吸収合併したことで税負担が減少したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は139,007千円（前年同期比153.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、全国の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

累計登録会員総数は318,585口座（前年同期比10.9%増）、アクティブユーザ数（過去1年間で1回以上購入したユーザ数）は92,618口座（前年同期比8.0%増）、ロイヤルユーザ数（過去1年間で6回以上購入したユーザ数）は20,921口座（前年同期比25.8%増）となり、リピート顧客の増加が顕著となりました。

「BEAUTY GARAGE Online Shop」経由売上高は物販事業売上高の約7割を占めており、当社の最も重要な販売経路となっております。特に、スマホ専用ECサイトやスマホ発注アプリ「BGスマート発注」経由による受注が増加しており、モバイル経由の売上高は前年同期比47.1%増と大幅に伸ばいたしました。

また、当第1四半期連結累計期間におきましては、ネイル・まつ毛材料をはじめとして理美容化粧品やエステ化粧品など、化粧品・材料の売上高が全般的に好調に推移し、前年同期比35.3%増と物販事業売上高の前年同期比を大きく上回りました。

この結果、当事業の売上高は2,043,554千円（前年同期比15.0%増）、セグメント利益は170,948千円（前年同期比33.8%増）となりました。

②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

ビューティガレッジグループとしての連携強化と積極的な営業活動を行った結果、チェーン店本部からの受注や大型店舗からの受注が増加し、当事業の売上高は619,654千円（前年同期比27.5%増）、セグメント利益は39,570千円（前年同期比99.3%増）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして居抜き物件仲介サービスや集客支援サービス、採用支援サービス、ファイナンスサポート、店舗リースサービス等の各種ソリューションメニューを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、保険サービスは堅調に伸長しましたが、集客支援サービス、採用支援サービスなどが前年割れとなり、当事業の売上高は45,276千円（前年同期比34.3%減）、セグメント損失は5,909千円（前年同期は16,640千円の利益）となっております。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%減少し、3,366,245千円となりました。これは、主に現金及び預金の減少214,569千円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて11.5%増加し、733,952千円となりました。これは、主に無形固定資産の増加42,884千円によるものであります。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて17.2%減少し、1,522,312千円となりました。これは、主に買掛金の減少221,091千円及び未払法人税等の減少112,948千円があったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて70.0%増加し、427,696千円となりました。これは、主に長期借入金の増加173,551千円によるものであります。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて4.7%増加し、2,150,189千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少41,828千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加139,007千円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月12日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,144,323	929,754
受取手形及び売掛金	837,384	809,416
商品	1,044,557	1,153,010
仕掛品	141,931	97,377
その他	337,845	395,537
貸倒引当金	△19,846	△18,850
流動資産合計	3,486,194	3,366,245
固定資産		
有形固定資産	123,542	135,259
無形固定資産		
ソフトウェア	37,450	40,435
ソフトウェア仮勘定	204,700	244,600
その他	116	116
無形固定資産合計	242,266	285,151
投資その他の資産	292,214	313,541
固定資産合計	658,024	733,952
資産合計	4,144,218	4,100,198
負債の部		
流動負債		
買掛金	762,646	541,554
短期借入金	29,170	16,672
1年内返済予定の長期借入金	127,834	214,569
未払法人税等	140,342	27,393
賞与引当金	34,231	82,741
製品保証引当金	9,921	9,348
受注損失引当金	1,679	2,154
株主優待引当金	3,240	2,913
資産除去債務	571	-
その他	729,004	624,965
流動負債合計	1,838,638	1,522,312
固定負債		
長期借入金	90,645	264,196
ポイント引当金	51,770	53,066
資産除去債務	42,739	43,909
その他	66,382	66,524
固定負債合計	251,536	427,696
負債合計	2,090,174	1,950,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	269,745	269,745
資本剰余金	220,512	220,512
利益剰余金	1,536,791	1,633,970
自己株式	△274	△274
株主資本合計	2,026,774	2,123,953
新株予約権	236	-
非支配株主持分	27,033	26,236

純資産合計	2,054,043	2,150,189
負債純資産合計	4,144,218	4,100,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
売上高	2,331,310	2,708,485
売上原価	1,571,361	1,832,700
売上総利益	759,949	875,785
販売費及び一般管理費	645,999	739,647
営業利益	113,950	136,138
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	1
仕入割引	113	140
受取手数料	356	237
為替差益	-	992
その他	2	149
営業外収益合計	478	1,521
営業外費用		
支払利息	252	175
為替差損	10,378	-
障害者雇用納付金	-	280
市場変更費用	16,770	-
その他	545	29
営業外費用合計	27,947	484
経常利益	86,481	137,175
特別利益		
新株予約権戻入益	-	236
特別利益合計	-	236
税金等調整前四半期純利益	86,481	137,411
法人税、住民税及び事業税	41,680	15,105
法人税等調整額	△8,281	△15,905
法人税等合計	33,398	△799
四半期純利益	53,083	138,210
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,748	△796
親会社株主に帰属する四半期純利益	54,831	139,007

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
四半期純利益	53,083	138,210
四半期包括利益	53,083	138,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	54,831	139,007
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,748	△796

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,776,253	486,114	68,941	2,331,310	-	2,331,310
セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,778	9,737	9,666	65,182	△65,182	-
計	1,822,032	495,852	78,608	2,396,493	△65,182	2,331,310
セグメント利益	127,736	19,851	16,640	164,227	△50,276	113,950

(注) 1. セグメント利益の調整額△50,276千円には、セグメント間取引消去△2,918千円、未実現利益の調整額8,757千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,116千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,043,554	619,654	45,276	2,708,485	—	2,708,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81,229	270	11,566	93,066	△93,066	—
計	2,124,783	619,925	56,843	2,801,552	△93,066	2,708,485
セグメント利益	170,948	39,570	△5,909	204,609	△68,471	136,138

(注) 1. セグメント利益の調整額△68,471千円には、セグメント間取引消去11,059千円、未実現利益の調整額1,644千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△81,175千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。